

「学生」×「地域」の取組事例発表会 ベストプラクティスコンテスト 及び 大学・地域連携シンポジウムの概要

平成26年3月1日（土）に、アストホール（津市）で、「学生」×「地域」の取組事例発表会 ベストプラクティスコンテスト 及び 大学・地域連携シンポジウムを開催しました。



当日は、学生の他、高等教育機関、企業、NPO、行政などから、前回は大きく上回る約150名の皆さんにご参加いただきました。

当日のプログラムと開催概要は次のとおりです。

〈当日のプログラム〉

開会

あいさつ

第1部 ベストプラクティスコンテスト

・12の学生グループが活動発表

第2部 大学・地域連携シンポジウム

（事例報告者）

○学生通信社

○静岡大学フューチャーセンター

（ファシリテーター）

○米山 哲司 氏

〔NPO 法人 Mブリッジ 理事長〕

ベストプラクティスコンテスト 表彰式

閉会

開会にあたり、主催者を代表して三重県戦略企画部長からご挨拶しました。

第1部 ベストプラクティスコンテスト

「学生」×「地域」の取組事例発表会 ベストプラクティスコンテストは、高等教育機関と地域との連携の仕組みづくりの一環として、学生が日頃地域で取り組んでいる活動とその成果をより多くの県民の皆さんと共有することを目的に、平成24年度から開催しています。

第2回となる今年度は、地域で活動している12の学生グループから活動発表がありました。
〈発表の様子〉



活動発表を行った学生グループ ※発表順

○三重県学生献血推進連盟

（県立看護大、三重大、鈴鹿医科大、皇學館大、三重短大、近大高専、四日市看護医療大）

○みえサイエンスネットワーク

「サイエンスリーダー」（鈴鹿高専）

○鈴鹿高専学生会「すずかテラス」（鈴鹿高専）

○いのちのキャンパス実行委員会

（四日市大、三重大、鈴鹿医科大、鈴鹿国際大、皇學館大）

○皇學館大学「地域社会研究会」（皇學館大）

○皇學館大学ユースプロジェクト（皇學館大）

○近大高専「Good Job」（近大高専）

○四日市看護医療大学

「インドネシア看護師サポートチーム」

（四日市看護医療大）

○地域で頑張る企業・NPOを“つたえ”

“つなげる”学生レポーター「ガクレポ」

（四日市大、三重大）

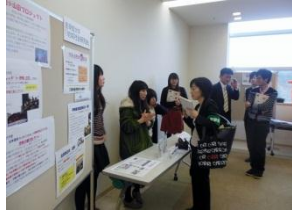
○ピッスモサークル（三重大、皇學館大）

○四日市大学「地域パトロール」（四日市大）

○E TVよっかだい（四日市大）

それぞれの学生グループが、色とりどりに作り込んだ発表資料を用いて日頃の活動を紹介し、取組にかける熱い思いなどを語りました。

会場内では活動発表を行った12グループを含む19の学生グループが、日頃の活動を展示し、来場者は各グループの展示を見て回りながら、互いに交流を深めていました。



なお、ご来場の皆さんには、全学生グループの活動発表を聞いていただいたうえで、各グループへの応援メッセージを添え、「この取組がおもしろい」「自分たちの地域でも参考にしたい」など、共感した団体に投票していただきました。

また、NPO、企業、行政のそれぞれの分野から、5名の方に審査員として参加していただき、共感した団体に投票していただきました。

審査員の皆さん ※50音順、敬称略

先浦宏紀（株三重銀総研 調査部副部長）／
 増田正人（公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター 専務理事）／宮路元美（井村屋グループ株式会社総務・人事部部長代理）／
 宮本倫明（「美し国おこし・三重」総合プロデューサー）／山口和夫（三重県戦略企画部長）

第2部 大学・地域連携シンポジウム

大学・地域連携シンポジウムは、地域で活動する学生や、大学との連携に取り組む地域の皆さんを増やし、連携のすそ野を広げていくため、参加した皆さんに活動のヒントとなる先進事例を学んでいただく目的で開催しました。

今年度は、学生が中小企業・社会起業・NPOの魅力の情報発信している「学生通信社」と、学生と地域住民が同じ目線で対話しアイデアを生み出す場づくりに取り組んでいる「静岡大学フューチャーセンター」のメンバーをお招きして話題提供をいただくとともに、米山哲司氏（NPO 法人 M ブリッジ理事長）にファシリテーターを務めていただいて、第1部で発表した学生たちとの掛け合いを交えながら、学生と大人と一緒に取り組む地域活動について、会場の皆さんとともに考えました。



ベストプラクティスコンテスト表彰式

ご来場の皆さん及び審査員の投票により選ばれた受賞団体の表彰式を行いました。

受賞団体は以下の3団体でした。

◆オーディエンス大賞◆

□ 地域で頑張る企業・NPOを“つたえ”

“つなげる”学生レポーター「ガクレポ」

<来場者からの主なコメント>

- 地域・学生・取材先のWin-Win-Winの関係が素晴らしい。
- 目的が明確で、地域との関係がうまくいっている。
- 良いものの発信は、外の人からだと効果大。素敵な人や企業とのふれあいは、自身の魅力増にもつながっていると思います。

- ・プレゼンの様子で活動のことがよく伝わった。
うちの団体もレポートしてほしい。

◆オーディエンス賞◆（2団体）

□ インドネシア看護師サポートチーム

<来場者からの主なコメント>

- ・文化の違いという難しい課題解決につながるすばらしい取組の今後の展開に期待する。
- ・医療の問題をきちんととらえ、地域にも役に立つ活動である。
- ・日本の将来のためにも、活動の幅やメンバーを増やしつつ継続してほしい。

□ 三重県学生献血推進連盟

<来場者からの主なコメント>

- ・三重県の若年層の献血率が全国ワースト1位から抜け出せるように頑張してほしい。
- ・学生が訴えかけることにより、関心をもってもらいやすい。



以上の賞に加えて、県内高等教育機関の学生の模範となる優秀な取組を発表していただいたことを称え、12 の発表団体全てに「ベストプラクティス賞」を授与することとしました。

（以上）